

支部研修旅行詳細版

●支部研修旅行報告（平成23年6月24～25日）

神山 孝昭 慶成建築事務所 立川市富士見町

ナブコシステム(株)西東京支店 守屋・大城

寒冷の候、皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。日ごろは並々ならぬご厚誼を賜り心より感謝申し上げます。また、この度の東日本大震災により被災された方々には心よりお見舞い申し上げますとともに一日も早い復興をお祈り申し上げます。

さて、毎年恒例となっております研修旅行であります。今年は6月24日（金）から25日（土）に掛けて1泊2日の旅程で開催されました。1日目をご参加された20名が集合場所の小平駅からサロンバスに乗り、研修場所である弊社つくば工場に向かいました。

昼食を済ませた後、工場内に展示してあります海外輸入製品の実機を作動させての説明が始まりました。ご紹介させて頂いた商品は『スパイラルドア』『ターボドア』『ノボスプリント』と様々ございますが、主な用途としては工場建屋の大きな物の搬入路やマンション駐車場の出入口などにご採用いただいております。全ての商品はヨーロッパの厳しい安全規格試験に合格した高品質なもので、弊社はその販売・施工・メンテナンスを行っております。研修会は工場内で行われたため、蒸し暑さに耐えての厳しいものですがご参加いただいた皆様は最後まで熱心に耳を傾けていただき誠に感謝いたしております。

翌日はゴルフ組と観光組に分かれ、各々が蓄積されたストレスを発散され日頃味わえない貴重な時間を過ごされたと思います。因みに親睦ゴルフ大会では菊池建設(株)の菊池社長が優勝、準優勝は(有)イトム建築工場の石橋先生、3位は(有)西川建創の西川社長（西川プロ）でした。観光組コースは初めに『鬼怒楯岩大吊橋』からライン下りを眺めながら記念撮影。次に向かった『龍王峡』では五龍王神社の裏にある『虹見の滝』にて絶景に感動。最後は『日光江戸村』に於いて、江戸写し絵“だるま夜話”に釘付け状態となり、“にゃんまげ”という射的にかなりのお金をつぎ込んだようです。夕方にはゴルフ組と観光組が合流し、その日の出来事をサロンバスで語り合いながら楽しいひと時を過ごしました。

最後に、この度はナブコシステム(株)つくば工場という遠いところまでご足労いただき感謝申し上げますとともに、未永く支部研修旅行が行われることを祈念いたします。



●高田 泰治郎 会員獲得作戦「X」

(有)タカダ都市設計 武蔵野市境南町

この紙面をお借りして、これまでの会員獲得作戦の経過報告をいたします。

東京都建築士事務所協会の本部の働きにより、東京都耐震化促進事業に多くの会員が参加することになったことは大変好ましいことであると思います。今後しばらくはこの耐震化促進事業で、会員の増加並びに会員の活性化は図られるものと思いますが、耐震診断業務はいつまでも続くものではありません。東京都の事業も平成25年度までです。より魅力ある新規事業の立ち上げが必要です。

① 住宅ローンの特別枠へのチャレンジ

「協会会員物件について特別住宅ローン利率などが適用できないか」について、多摩信用金庫武蔵境南口支店に打診してみました。本部から担当者が3名当事務所に訪ねられて、その可能性について議論いたしました。結果から言うと「特別住宅ローンは個別対応」ということで、「事務所協会北部支部会員顧客の金利優遇」という表記は実現しませんでした。今回の打ち合わせで、多摩信さんに事務所協会の実態をお伝えできたこと、そして内容を説明できたことは個人的には大きな収穫であったと思っています。今後、多摩信さんのサポートシステムやネットワークを活用し、支部の知名度アップを図り、多くの会員を獲得する足掛かりとしたいと考えています。例としては「多摩CBネットワーク」を掲げることができます。CBとは「コミュニティービジネス」の略で、NPO法人、市民活動団体、企業、行政、中間支援機関、金融機関など様々な立場で地域の課題を「コミュニティービジネス」で解決すべく活動するネットワークです。現状では多摩地域では多くの課題を抱えておりますが、これらをすべて税金で賄うことは不可能な状況にあります。さらに需要が増加する高齢者対策など、一つの組織では到底解決できない地域の課題などを捉え、「コミュニティービジネス」として創造する必要があります。それにはネットワークによる情報収集と各団体との連携が欠かせません。当支部も活動に参加し、支援事業を立ち上げるため、ネットワークに参入することを期待いたします。

② 東宅協との業務提携の打診

東宅協とは以前から不動産相談会やよろず相談会などでともに活動していますが、少し前向きに事業として協調できないかと考えました。三徳地所の千種さんに「東宅協との業務提携」について打診しました。千種さんは内部で少し相談してみたいとのことでしたが、先日の連絡では皆の足並みが揃わないとのことでしたが、全体としてではなく東宅協の一部会員と具体的な業務提携の内容について詰めるということでの準備を進める状況にあります。こちら側が何を用意できるかが期待されている状況と考えております。

③ 支部独自の住宅仕様など提案

これについては内部からの提案や方針を受け、取りまとめの方向性や具体化について検討を図りたいと考えております。次回の「広報春号」において、内部からのいくつかの提案などを紹介していく予定であります。

自動ドア・ステンレス建具

 ナブコシステム株式会社

西東京支店

〒186-0003 国立市富士見台2-31-1

TEL : 042-575-1725

<http://www.nabcosystem.co.jp>

2011年4月1日 株式会社LIXILが新たに動き出します。

     

トステム・INAX・新日軽・サンウエーブ・東洋エクステリアは、2011年4月1日より、株式会社LIXIL(リキシル)としてお客様の多様なニーズに対応した商品とサービスを提供してまいります。

株式会社LIXIL 東京西支店

東京都昭島市田中町610-3

<http://www.lixil.co.jp>



東京都東村山市秋津町3-50-3

042(393)1177

ご相談下さい

雨漏れ問題

防水工事・外壁工事

雨上がり なぜかボタリと 家の中

| | |
|--|--|
| <p>ヘーベル・ベースパック・アスロック・イーゼット・フレームキット 販売施工 名取屋興産株式会社 TEL 042 (341) 8811 FAX 042 (345) 1002</p> | <p>耐震診断現場調査(コア採取試験)・赤外線調査・超音波測定等コンクリート構造物の総合診断会社</p> <p>三協 株式会社 〒140-0013 東京都品川区南大井 2-12-10 TEL :03-3298-2081 FAX :03-3298-2080 http://www.sankyo-net.co.jp</p> |
|--|--|

連載：北部と ころ何処 東村山市、清瀬市、東久留米市
小平市、西東京市、武蔵野市

●仏像はいかがですか

(有)関建築研究所 新宿区西早稲田

近隣の情報ということですが、小平にはとりあげる話題が見当たりません。

若者文化で賑わう駅限界もなく、植木畑、果樹園ばかりです。近年では住宅化のあおりを受けて、それも年々減少しています。この際、近隣情報はあきらめて最近、興味を持っているものを勝手にしゃべらせてもらいます。仏像です。中高年層の間に静かなブームが起こっているそうです。

図書館で、関連の写真集や解説書を借りてきては、暇を見つけて読んでいます。きっかけは、NHKのTV番組「仏像100選」を見てからです。それは、視聴者が選んだ仏像100体の紹介と、仏像と人間のかかわりをドキュメンタリータッチで描いたものです。

番組の中で、仏像を前にして思わず涙を流す人達、心の悩みが霧のように晴れる体験する人達がいきました。一人二人ではありません。私も色んなものを背負い込んでストレスの中にいます。ビデオに撮って何度もみては、そのたびに心が癒される思いがします



如来、菩薩、明王等々仏様によりそれぞれの役割があります。千手観音や十一面観音といった怪物のような形にも意味があります。奥が深くなかなか知識欲も満たされる対象です。実際に仏像めぐりの経験はありません。私の町(小平市)の鈴木稲荷神社に3体のお地藏様が路傍に立ち並んでいるとのこと。手始めにその写真でも撮りにいきますか。

●支部スケジュール

| | |
|----|----------------------------|
| 1月 | 行政庁年始廻り(1/4) 北部支部新年会(1/31) |
| 2月 | 支部耐震実務者講習会(2/6) |
| 3月 | 耐震フォーラム(3/17) |
| 4月 | 支部定時総会 |

●支部関連イベント

| | |
|----|--|
| 1月 | 賀詞交換会(1/7) 新春交礼会(1/18) 第6ブロック第5回ブロック会(八王子)(1/27) |
| 2月 | 支部対抗ボート大会(2/4) |
| 3月 | |
| 4月 | |

●広報特集予告

| | |
|-----|--|
| 春号 | 新業務への展開：魅力ある支部とするため、講演会の開催(有料)、支部開発プロジェクト、耐震設計業務の受注、耐震診断に並ぶ調査業務の発掘。 |
| 夏号 | リスクマネジメント：業務の減少が続く中、ユーザーからは厳しい条件を突きつけられることが多い。今後の業務のリスクと分散について調査し、支部の役割を明確にする。 |
| 新年号 | 「コミュニティービジネス」の有望性を模索し、事務所協会北部支部としてどうかかわるか、関わり方の提案を行う。 |

季刊 広報 ほくぶ 新年号
第2号(12月31日発行)

発行：(社)東京都建築士事務所協会 北部支部
住所：〒188-0011 西東京市田無本町4-9-1
測量センター内
メールアドレス：info@taaf-hokubu.jp.org

特 集
北部支部の進路

生コン販売・ALC(ｸﾘｯﾌﾟ)・耐火被覆他
日興産業株式会社
TEL 042-342-0044 FAX 345-9576

●福室 武 会員獲得作戦「Y」 ふくむろ建築設計事務所 東村山市廻田町

私は平成21年に(社)東京都建築士事務所協会に入会しました。入会のきっかけとなったのは、木造住宅耐震診断業務を支部経由で紹介してもらえということからでした。私にとっては初めての業務内容で不安だらけでしたが、支部の方々の親切な指導によりスムーズに業務を遂行することができました。その後も継続して耐震診断業務を行わせてもらっています。私は(社)東京都建築士事務所協会に入会する目的として、耐震診断関連支援だけではなく、入会による幅広いメリットを宣伝・提案できないかと考えています。例えば、建築士会との均衡を図るため入会金の値下げ及び会費の値下げ。(現在協会内で検討中)実務的にCAD操作に関するサポート、耐震診断ソフトの格安提供。教育・情報支援として会員のための実務講習会の充実及び一早い技術・法令情報等を提供できればよいと考えています。さらに協会内において会員の長期加入してもらうために、会員の福利厚生制度の設置、年金的なものによる支援。建築確認審査業務並びに建築物調査業務などがあれば知名度も上がり、(社)東京都建築士事務所協会の名前もブランド化されていくと期待します。また現在加入している会員の方々に、入会したきっかけに関するアンケート協力をお願いして結果を分析すれば会員増員のヒントが隠れているかもしれません。(社)東京都建築士事務所協会に入会して間もない私にとっては、会員の仲間ができたことが最大の入会メリットだと感じています。

●支部新会員紹介

○(株)小堀建築設計事務所 代表取締役 小堀好美
昭和46年1月に事務所創立、昭和62年11月に法人化し、お蔭さまをもちまして今年で丁度、創立40周年を迎える事が出来ました。この間、生まれ育った西東京市田無を中心に民間では戸建住宅、共同住宅はもとより、学生会館、幼稚園、銀行等の事務所建築等々、また、東京都をはじめ西東京市や近隣の都市の学校や福祉施設、また東京消防庁等の公共建築の設計・監理をさせていただいております。今後も目まぐるしい社会情勢の変遷の中で時代が求める「建築」に充分答えられるよう自己研鑽を積み重ね、地域社会へ貢献していきたいと思っております。この40年間、幾多の会員の皆様より入会のお誘いをいただいて参りましたが今回貴協会支部へ入会させていただいた一番のきっかけは、貴協会が法定団体となったこととございます。また、今までは経済団体などを通じた異業種の皆様との交流が中心でしたが、今回貴協会支部に入らせていただく事により、同業の皆様との交流を深める中で皆様の豊富な知識や経験を吸収させていただき、自分自身の業務の質の向上に役立てていけたらと期待しております。共生、共助の精神で微力ながら貴協会支部の発展に寄与できたら幸いです。皆様どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



○(株)岡庭建設一級建築士事務所 代表取締役 岡庭信行
私共は、地域に根差し40年目を迎える工務店です。20年ほど前から太陽エネルギーを利用したエコ住宅や、街並みに配慮した住宅を主に手掛けています。設計型工務店として家づくりを手掛け始めるところから、家が完成した後の「家守り」を一貫として取り組み、おかげ様で2010年にはグッドデザイン賞、2011年には環境デザインアワード・ビルダーズ部門賞を頂くこととなりました。家のデザインだけでなく、取り組みを一つのデザインとして評価されたことは何よりも嬉しい限りです。そしてこれからの時代は、既存住宅への対応がより求められます。東日本大震災を受け、地震やエネルギーに対して消費者意識も変化しつつあり、耐震改修や断熱改修等、地域の住宅を守るべく対応や技術力が必要です。私どもの元から持ち合わせる、施工技術と品質ありきのデザインをさらに磨くためにも協会、支部の皆様からより多くのご指導・鞭撻を頂戴し、社会や地域に貢献して参りたいと考えています。



| | |
|--|---|
| <p>児玉コンクリート工業株式会社 〒171-0022 東京都豊島区南池袋 2-9-9 http://www.kodama-conc.jp</p> | <p>アルミニウム製建具、鋼製建具 YKK AP株式会社 東京ビル建材統括支店立川支店 〒190-0012 東京都立川市曙町 1-27-10 読売立川ビル6F TEL : 042-521-1020</p> |
|--|---|